



おかむら通信 151号

平成 29 年 11 月号

◎院長より

台風が2つ通り過ぎていきましたが、みなさま、お体の方は大丈夫でしたか？ おかむら通信もすでに151号になりました。さきほど机の引き出しからでてきた通信は96号となっていました。あの頃は、松戸から千葉県へと医療情報ネットワークをひろげるために強引にかなり活発に、毎日忙しく体力の続く限り頑張っていたのかな？ 懐かしい瞬間を垣間見ました。さて皆様も、毎日の生活において病氣と戦っておられると思います。今月の28日には、おやこ DE 広場みのり台にて、3歳児以下の子供たちとお母さん相手に、「乳幼児の感染症と対策、何も慌てることはありません」についての講演と個別相談を行う予定です。

* 今月の言葉 ガンジー

In matters of conscience, the law of majority has no place. 良心の問題に関しては、多数決の法則は適用されない。
It is health that is real wealth and not pieces of gold and silver. 本当の富とは健康のことであり、金や銀のことではない。



●院長から

まずは急いでほしいもの：

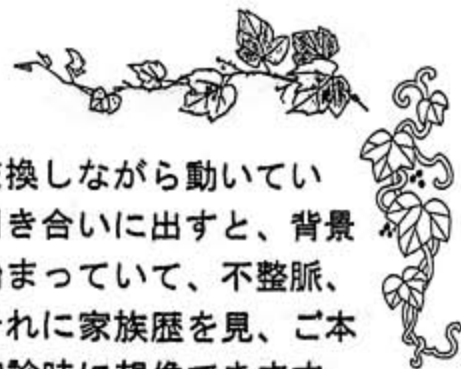
突発性難聴がいまだに難治性の疾患として、治療を途中であきらめてしまっておられる方々が大勢いるとお聞きします。どうかあきらめないで、当院を受診してみてください。ブロック治療いたします。一生の聴力をなくされていいのならしようがありません。また、帯状疱疹ヘルペスの重症例は、その後大変つらい思いをされるヘルペス後神経痛（PHN）にならないために、ヘルペス病変の部位にあわせた神経ブロックが必要です。

◎患者さんからの質問

ここの医療姿勢・治療の仕方の、どこが他院と違うのですか？

複数の疾患を念頭に入れて、患者さんの主張される症状の背景にあるものを同時に認識し、総合的に病態を見る。したがって主なる疾患と並行して背後の病気のコントロールをします。当院でよくあるのは、新患で来られた方が全く意識していなかった病気を当院で発見されることもたくさんあります。





「病気は、単独で存在しない、関連して、相互に情報交換しながら動いている。とくに慢性疾患においては、たとえば高血圧を引き合いに出すと、背景に糖尿病前状態が存在し、全身の動脈硬化がすでに始まっていて、不整脈、腎機能の障害などにも注意しなければいけません。それに家族歴を見、ご本人の生活の特徴を見れば、存在する疾病の大体が、初診時に想像できます。

ちいさな奇跡を起こすためには、患者さんとドクターの共同作業が絶対に必要です。半々です。一緒に言いたいことを言いながら、協力し合っていますよ。

最近、ご免なさい、こころの傷をもたれつらい思いをされている方が大勢いらしています。院長の余力のなさから、わーつと言葉を発してしまうことがあり、誠にごめんなさい。

外科医であり麻酔科医であり内科医である院長が、急病や手術、神経ブロックや小児の治療等を並行して診療するために院内を動き回っていると（弁解じみえていますね）、じっと患者さんのお話を聞いて、そのお話から何を汲み取って治療に活かせば良いのかわからなくなる時があります。これもごめんなさい。

●院長の仕事（10月）

16/（月）当院カンファレンス

18/（水）松戸市医師会肺癌勉強会 聖徳大学10号館にて

21/（日）松戸青年商工会議所50周年記念式典 招待される 聖徳大学にて

26/（木）おやこDEひろばみのり台にて関係者と今後のプラン討議

子育ての悩みをもつお母さんたち、お子さんは、障害児、学習障害、裕福、貧困関係なく、ものすごく広範囲なひとたちを受け入れる所



禾火が深まってきましたね。すっかり寒くなったので小煮でセーターをひっぱり出したところです。

皆さん 暖かくしておく木下さい。

七種
さいくさ

